

日本アイスフラワーアカデミーが始動! 生徒を募集中です

アイスフラワーの基本から本格的な作品制作までみっちり学ぶことができる、待望のアカデミーが本格始動しました。現在ベーシックコースと認定講師の資格取得を目指すマスターコースを一貫して受講できる、3日間の短期集中コースを開講。4・5月講座では、アカデミー公認の認定講師が初めて誕生しました。また、関西でも教室を開講。詳細は電話にてお問い合わせください。

講義についての問い合わせ
日本アイスフラワーアカデミー
電話/0120-087-942
東京教室/デイズ (松尾太一さんのアトリエ)
東京都港区東新橋2-18-2
グラデイト汐留ビナンコ1階
電話/03-3459-8787
交通/JR新橋駅下車 徒歩5分
6月の講義/6月27日~29日
7月の講義/7月24日~26日
認定講師資格/取得されたかたは認定教室開室のため、アカデミーが全面的にバックアップします。

アイスフラワーのご購入とお問い合わせ先

アイスフラワーはベルギーから直接入荷されます。約30種類のバラはもとより、ガーベラ、カーネーションなど、しなやかな風合いや色合いが何カ月も保たれます。それぞれの花の一番美しい時期に揃えますから、一年中すべての種類が揃っているわけではありません。数量に限りがありますので、購入ご希望のかたはもちろん、詳細は以下にお問い合わせください。

問い合わせ
株式会社テンマック
ホームページ/
http://www.iceflower.jp
電話/03-5298-3831

Topics

話題を呼びました! ウエディングショー初登場の睡蓮のキャスケードブーケ

この睡蓮のキャスケードブーケは、今春の「YUMI KATSURA東京グランドコレクション」で、女優の堀北真希さんが手にした。どこから見ても美しくエレガントなラインのブーケは、ゴージャスなティアラ、正統派のロイヤルウエディングドレスと調和しながら、美しいゲストの花嫁、堀北さんを彩り、大きな話題を呼びました。



清らかで高貴で。クチュールブーケを極めた、白い睡蓮のキャスケード

夏の短いときだけ水面に咲く睡蓮の花が、ブーケになるなんて…。アイスフラワーだからこそ可能な世界です。堅いつぼみも開きかけたときも、最高に咲き誇った花も…。大輪の睡蓮は、どんなときも美しい特別な造形美の花。永遠の幸福を象徴して、揺れて流れるキャスケードブーケに仕立てました。清らかで高貴で、どんなクチュールドレスにも合うような、品格のブーケに。●スイレン(白)

KAORUKO

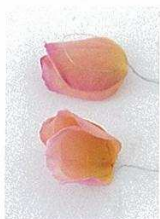
かおるこ / [KAORUKO] 主宰。ブライダルフラワープロデューサー。桂由美ブライダルショーでブーケを長年にわたって担当し続け、国内外で活躍。多くの女優を担当し、美意識の高い女性からの支持も厚い。オリジナルウエディングのトレンドやニーズに応えながら、人材育成にも力を入れている。



Flower Artist

アイスフラワーのバラの花びらでメリアを作りました

step 1



花びら2枚を少しずらして重ねて1組にして、ワイヤリング(ヘアピン)したものを多数作り。2枚を重ねることで深みが増し、花びらの間に自然な空気感が生まれます。

step 2



中心用に、形が整ったバラの1輪を選びます。2枚重ねの花びらの影が内側の花に添うように重ねて、花を大きくします。ワイヤー部分はしっかりひとつにまとめて。

step 3



バランスよく丸く重ねていくと、後ろ姿はこのようになります。メリアの中心がずれないようにすべてのワイヤーをねじってまとめ、フローラルテープを巻きます。

step 4



一番外に平たい花びらを重ねることによって、自然な丸みが出ます。この空気感はグルーを使わず、ワイヤリングだけで仕上げるからこそ。持ち手にリボン巻いて仕上げます。

アイスフラワーが実現しました。生花では難しいブーケも、花と花の組み合わせも、水と切り離されることで、逆に長い間、自然な風合いと繊細な色合いを失わない…。アイスフラワーに出合ったとき、その不思議な存在に人々は驚かされます。特殊な加工や着色を一切していないので、ドライでありながら、従来にはなかったしっとりとしたナチュラル感が確かにあるのです。「アイスフラワーはデリケートです。初めて触れるかたは緊張するでしょうけれど、基本的な扱いをひととおり学べば、そのデリケートさがこの花の大きな魅力だということがわかると思います。花びらの繊細なニュアンス、花の後ろ姿や茎…。実際に手にとってみないと、この風合いは実感できないでしょう。ほかにない独特の風合いに触れていると、アイデアが湧き上がってきます。白い睡蓮に出合ったときも、つぼみ、三分咲き、五分咲き…といろいろな花があって「なんて清らかで高貴で、それぞれの咲き具合がすべて美しいのでしょう。ああ、ブーケにしたい」とひらめきました」と、KAORUKOさんは語ります。生花では実現しなかった新しい世界が、アイスフラワーによって広がっていきます。

広がります。アイスフラワーの世界

花の新しい可能性 アイスフラワー 第三回

日本に本格的に登場し始めたアイスフラワーに今、多くの注目が集まっています。切りたての花の美しい瞬間を閉じ込め、自然な風合いと繊細な色合いを留めたフリーズドライの花。生花とは違う魅力を持ち、ゆっくりにした花のうつろいを長く楽しめる花。この花だからこそ実現した組み合わせや自由なあしらいをご紹介します。

花と指導: KAORUKO 撮影: 栗林成城 構成と文: 近藤小桃



しなやかに線を描く睡蓮のつぼみとシックなバラのメリアで、新しい「禅」スタイルを

睡蓮のつぼみとバラのメリア。生花では難しい組み合わせができるのも、アイスフラワーの大きな魅力です。この素材ならではの花びらの色の濃淡や自然なニュアンスを、黒い漆の器に入れてそれぞれにくっつけ際立たせました。しなやかでシック、今までになく新しい「禅」スタイルのあしらい。●スイレン(ピンク葉付き)、バラ3種(ヘブンほか)